

活動の素材を紹介します



華美棒

円筒状のきらきらしたフィルムをゆっくりと押すと、シャボン玉のような動きのある輝きが広がり、ゆっくりと閉じていくとなくなります。広げて指先で軽く回すと、さらにキラキラと輝きます。フィルムのやさしい動きと色彩の広がりを楽しむ活動です。

❖❖❖ 「小さな親切」運動 ❖❖❖

平成 28 年 3 月 5 日 (土)、「小さな親切」運動静岡県本部より静岡銀行細江支店、引佐支店、榎出雲殿の皆さんを中心としたグループがおみえになりました。2号館の窓ガラスや壁面の汚れを皆さん一生懸命清掃してくださいました。

また、この奉仕活動に先立ち、「小さな親切」運動静岡県本部からは昨年に続いて今年も車イスを1台寄贈していただきました。頂戴した車イスは、施設を利用される方のために、有効に活用させていただきます。

職員一同、感謝申し上げます。



	1月	2月
ショートステイ利用者数 (延べ利用日数)	92人 (409日)	100人 (420日)
日中一時支援利用者数 (延べ利用日数)	4人 (8日)	4人 (9日)
ボランティア参加人数 (グループ数)	17人 (4グループ)	13人 (2グループ)
実習者数 (グループ数)	17人 (2グループ)	18人 (3グループ)

苦情解決委員会より (2015年10月～2015年12月)

受付日	苦情内容	回答日	苦情解決の結果
10/2	【おおぞら入所】 ご家族より「以前褥創ができたところを注意してほしい」とお願いしていたにもかかわらず、今回再発してしまったため納得できない。また、「唾液や痰がたまりやすいため、2時間おきに吸引してほしい」と希望し、個別支援計画にも記載されたが、面会時に様子を見ていないと吸引がされていない。手技も職員によって違い、感染面での心配があるため、感染管理を徹底してほしい。」と申し出がありました。	10/2	サービス管理課長と看護係長が、褥創ができたことと吸引の実施が不十分であったことを謝罪いたしました。そして、今後の除圧の対策と定時で安全な吸引を行うことを約束し、ご理解をいただきました。
10/28	【おおぞらショートステイ】 ご家族より「ショートステイ送迎時、施設の駐車場に車を駐車したところ、職員に公用車の駐車場なので移動するように言われた。確認すると公用車駐車場と表記がないため、しっかり表示してほしい」と申し出がありました。	10/28	事務役職者がお話しを伺い、駐車場の表示について検討することをお約束しました。その後、公用車の配置や表示を見直して、公用車駐車場とわかるように表示をいたしました。
12/7	【おおぞらショートステイ】 ご家族より「ショートステイ利用中に、胃ろうの接続部の破損が繰り返し起こった。帰宅時に、本人が尿で衣類までぬれていて、急いで着替えさせなくてはならず困ったことがある。職員の受け答えに不快を感じたこともある。入所申し込みをしたつもりでいたが、後に登録されていなかったことがわかった。今までは、このようなことを口に出すと施設を利用できなくなるかもしれないと思い、我慢してきた」と申し出がありました。	1/4	ショートステイの事務担当者が、お話しを伺いました。後日、改めて、苦情受付担当者がお話しを伺ったところ、「前回、話を聞いてもらえて心のつかえが取れた。今回のショートステイは、職員の対応に問題なく安心できた」とのお話しをいただきました。